

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2016年度 第3四半期累計期間	2017年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	302,111	361,946
キャピタル収益	10,659	6,206
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	9,695	4,524
金融派生商品収益	—	—
為替差益	963	1,681
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	110,224	87,830
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	26,768	14,556
有価証券評価損	17,488	113
金融派生商品費用	65,966	71,187
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	1,973
キャピタル損益 B	△99,564	△81,624
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	202,546	280,321
臨時収益	—	292
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	292
その他臨時収益	—	—
臨時費用	32,977	34,077
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	6,747	10,000
個別貸倒引当金繰入額	283	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	25,946	24,077
臨時損益 C	△32,977	△33,785
経常利益 A+B+C	169,569	246,536

- （注） 1. 保険業法施行規則第69条第5項に基づく責任準備金繰入額は、基礎利益から除いています。
2. その他臨時費用には、保険業法施行規則第69条第5項に基づく責任準備金繰入額を記載しています。
3. 2017年度第2四半期（上半期）の開示から、マーケット・ヴァリュア・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額および外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額に関して、経常利益の内訳の開示方法を変更しています。なお、この変更を2016年度第3四半期累計期間に適用すると、2016年度第3四半期累計期間の基礎利益は3,078百万円増加し、キャピタル損益は3,078百万円減少となります。